

1 基本情報	
施設名又はグループ名	指定管理者名及び団体概要
横網町公園	(指定管理者名) 公益財団法人東京都慰霊協会 (団体の概要)
指定期間	設立年月日 昭和22年3月29日 事業 (1) 慰霊法要の執行と、慰霊堂及び公園施設の管理運営 (2) 震災・戦災の教訓の継承と防災意識の普及啓発
令和3年4月1日から8年3月31日まで5年	

2 施設名	3 収支（単位：千円）		
都立横網町公園	項目	金額	公園別支出額
	収入計	68,827	すべて、横網町公園
	内指定管理料	68,827	
	内利用料金	0	
	支出計	68,462	
収支差	365		

4 管理運営の概要

①新型コロナウイルス感染症拡大防止への各種対策を、東京都指示のもと適切に行い、個別イベントの中止等はあったものの公園の管理運営としては十分に所期の目的を果たした。

②慰霊と伝承の公園、その意義と存在を広く情報発信する特別展は、開館から90年になることを記念して「復興記念館～その軌跡をたどる～」と、関東大震災100年の企画として「関東大震災写真展」を開催した。また、企画展では「関東大震災と渋沢栄一」を行い、話題性のある人物にスポットを当てることで来館者の興味を引くよう工夫した。

③慰霊の場としてふさわしい環境の維持のため、園路・広場・砂場等の日々の清掃を徹底するとともに、適切な植物管理に努め、都の支給材を活用した低木の補植を行うなど、来園者及び動植物に配慮した環境の創造に努めた。

④震災・戦災の悲惨な歴史を後世に伝え、防災意識の向上を図るため、横網町公園を起点として園外の震災・戦災の爪痕や記憶の残る土地を巡るガイドツアーを実現した。

⑤復興記念館調査研究員と100年記念事業担当調査研究員の2名体制とし、復興記念館での展示・管理と100年事業（慰霊協会事業）を連携させるとともに、専門的な問い合わせや画像貸し出しに関する留意点等に適切に対応した。また、関東大震災記念事業報告書「被服廠跡」のデジタルアーカイブ公開を実施した。

⑥地域住民等とのネットワークを大切にしたい取り組みでは、9月に地域のNPO等との実行委員会形式で開催している「首都防災ウィーク」において、感染症拡大防止をとりながの観点からオンラインで講演会を行うなど、「新しい日常」のなかでの発信力向上に取り組んだ。

⑦公園の魅力向上と利用促進のための各種事業を計画したが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、一部は中止せざるを得なかった。

⑧9月1日に園内で行われる複数の慰霊集会に関して、東京都と連携して各団体と十分な事前調整を行った。

5 管理状況（維持管理）

1. 「植物管理」 枯枝・枯損木の処理を発見次第行い、安全確保を最優先に対応するとともに植物の特性に応じた剪定・刈込み等により年間を通じて良好な緑景観の創出に努めた。公園外周部の樹木の剪定・伐採を計画的に行い、市街地の公園にふさわしい樹林地の健全育成を図った。

2. 「施設管理」 遊具、水飲み、便所等毎日の目視点検を実施し、不良箇所の早期発見と対応を行った。砂場の衛生対策として前年度末設置した犬猫よけのフェンスに、「犬猫連れ込み禁止」の表示などを掲出した。（フェンスだけでは防げなかったため）

3. 「設備保守」 復興記念館消火栓をはじめとする防災施設に関して、専門業者による保守点検、定期的動作確認のほか、職員による操作訓練を行った。そのほか、臨機の不点灯対応等を実施し、適切な管理に努めた。

4. 「補修修繕」 公園利用者の視点に立ち、排水施設の改修、給水設備の増設を行うとともに、計画的なベンチの座板取り換えを継続した。木柵・看板等不具合箇所については直営職員で適切に対応した。

5. 「環境保全」 園内廃棄物のきめ細かい収集と適切な処理を毎年行い慰霊の場にふさわしい環境を維持するとともに、夜間巡回や日頃の声かけ等により新たなホームレスの流入を防いだ。ハトの餌やりについては、発見次第注意し理解を得ている。

6. 「新型コロナウイルス対策」 感染拡大防止措置として、「路上飲み禁止」などの現地掲示などを実施した。慰霊堂及び復興記念館入り口にアルコール消毒液を配置するとともに、定期的な各所清拭を実施した。

6 利用者アンケート結果

実施方法：職員による直接配布、回収

施設名	総合満足度	植栽管理	施設の清潔さ	安全・安心	職員の対応
横網町公園	4.6	4.8	4.2	4.5	4.6

7 入園者数の状況（単位：人）

施設名	当該年度	分析																
横網町公園	270,392	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底し、東京都の指示に従いつつ可能な限り公園利用に制限を設けない方針で管理した。</p> <p>一方で公園での散策など、自粛の閉そく感を癒す利用が増加したと思われ、公園来園者は増加した。来園者カウントのラインセンス係数が大幅に下がった令和3年度においても、平成31年度以上の来園者が訪れたことは、基本的な感染症対策の実施と粗放感のない管理を心掛けた結果であると考えられる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>公園利用者</th> <th>復興記念館来館者</th> <th>一時占用件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成31年度</td> <td>230,400</td> <td>31,088</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>246,684</td> <td>13,919</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>270,392</td> <td>19,488</td> <td>32</td> </tr> </tbody> </table>		公園利用者	復興記念館来館者	一時占用件数	平成31年度	230,400	31,088	55	令和2年度	246,684	13,919	28	令和3年度	270,392	19,488	32
	公園利用者	復興記念館来館者	一時占用件数															
平成31年度	230,400	31,088	55															
令和2年度	246,684	13,919	28															
令和3年度	270,392	19,488	32															
合計	270,392																	

○施設別事業報告書

施設名 横網町公園

指定管理者名 公益財団法人東京都慰霊協会

1 命を尊ぶ静謐な空間づくり

公園は自然を通して季節を感じる場でもある。その季節感をより高める風物や季節の植物を取り入れることにより、来園者の慰霊の気持ちに寄り添う空間を演出した。

(1) 慰霊堂内季節の花の展示(魅力ある公園づくり)

4月:ニリンソウ、シラン、5月:サツキ、ハナシロユブ、6月:アジサイ、ネジバナ、ギボウシ、キキョウ、
7月:カワラナデシコ、江戸風鈴とツリシノブ、8月:トクサ、10月:ジョウロウホトギス、ハマギク、
11月:ハゼ(紅葉)、ダイモンジソウ、12月:ヤブコウジ、1月:春の七草、3月:ニリンソウ

(2) 慰霊の場としてふさわしい環境の維持

公園内で落ち着いた雰囲気を持している日本庭園区域について将来にわたる計画的な管理を行うため、植栽管理計画を策定したうえ、景観や安全性の観点から大径木の強剪定を実施した。

2 震災・戦災の歴史を風化させない

(1) 特別展の開催

秋季特別展(R3年8月～12月)

復興記念館開館90周年に当たり、「復興記念館～その軌跡をたどる～」を開催した。

建築の経緯、建物設計の変遷とともに、戦後の一時期、臨時診療所として使われた歴史や、展示内容の変遷(未完となった平成の大リニューアル計画を含む)も丁寧に追った。

春季特別展(R4年3月～5月(予定))

関東大震災100年に向けて、記念館所蔵の5000枚の写真を分析する研究プロジェクトがスタートした(協会100年事業)。国際学会(第6回震災復興歴史社会学及び防災減災教育国際シンポ:中国、成都)での発表などを経て、その成果の一部を、「関東大震災写真展」として開催した。特に被害が大きかった東京下町6区(当時)で撮られた写真を撮影対象ごとに区分して、各区ごとに多く撮られた対象を明らかにし、それらの画像が当時の人々の「震災被害のイメージ」を作り上げていったことを指摘した。

(2) 団体利用解説や資料画像の貸し出し

コロナ禍で少なくなっているが、団体利用者に対する職員による解説を実施している。解説希望団体にはあらかじめ、希望する解説内容について打ち合わせを行うなど、件数が減っている分、きめ細かな個別対応を心掛けると同時に、解説の反省点などを「日報」にまとめ、職員間の共通化を図り、解説スキルの維持向上を図った。

また、主に研究や制作、出版向けに復興記念館所蔵資料の画像を貸し出している(無料)。

各種メディアに取り上げられることにより、震災、戦災を風化させない取り組みの成果となった。

3 公平で安全・安心な公園づくり

関東大震災100年を前に、各種団体から問い合わせ、要望等が寄せられる。単純な公園施設の改修要望であっても、真の趣旨を的確にとらえ、東京都とも密接に連携して適切に対応した。

利用者の安全・安心のための維持管理を徹底するとともに、所轄消防署と連携し全職員が参加する職員防災訓練を実施し、事故、災害時の対応力を高めた。

また、9月1日、園内で行われた慰霊集会においては、東京都、所轄警察署等と、協議・協力して、大きな混乱なく集会を終了させた。

5 魅力向上と利用促進のための自主事業

震災記念堂(現:東京都慰霊堂)、復興記念館をはじめ、横網町公園の整備を担当した財団法人東京震災記念事業協会が事業を終了して、東京市に引き継ぐ際に発行された事業報告書「被服廠跡」を平易な新字体アーカイブとして、広くホームページ上で公開した。100年を前に、学習や研究で取り上げられる機会が多くなることへの事前対応として、歴史資料の普及を図ることができた(自主事業)。

また、震災直後に書かれた震災をテーマにした子ども向け戯曲のアニメ化や、震災時に町民が消火に当たり、まちを火災から守った「美談」を題材にした「教育」紙芝居の映像化にも着手した。(令和4年度自主事業で完成を目指す)

1(1) 季節の花の展示



ニリンソウ



アジサイ



ハゼ(紅葉)



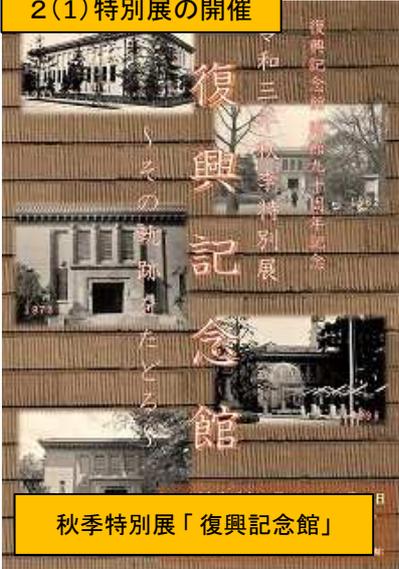
ハマギク

1(2) 環境の維持

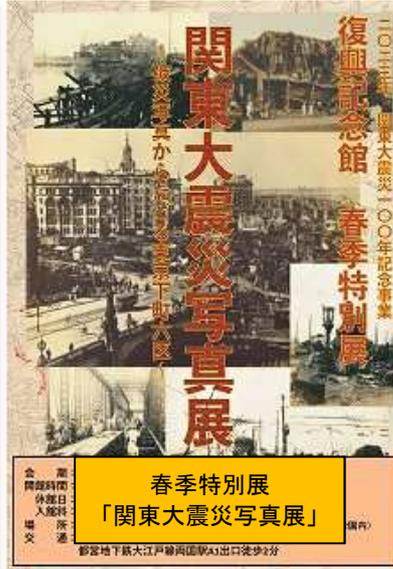


日本庭園内メタセコイアの強剪定(作業中)

2(1) 特別展の開催



秋季特別展「復興記念館」



春季特別展「関東大震災写真展」

2(2) 資料画像の貸し出



学習まんが「日本の歴史No16」令和3年6月発

3 公平で安心安全な公園



9月1日、同時に行われた2つの集会

都下に住む不幸なる人々は、此等の激震に脅かされ、壓殺されたところへ、此處彼處に燃へ上つた悪火の爲に災ひは更に倍加し、焔の渦に忽ち進退に窮し、避難に次ぐ又避難、果ては轉落、怨嗟、哀叫悲鳴に日と夜とを徹した。

変換例



都下に住む不幸なる人々は、此等の激震に脅かされ、**圧殺**されたところへ、**此處彼處**に燃へ上つた**悪火**の爲に災ひは更に倍加し、**焔の渦**に忽ち進退に窮し、**避難**に次ぐ又避難、果ては**轉落**、**怨嗟**、**哀叫悲鳴**に日と夜とを徹した。

4 歴史資料の普及による利用促進(自主事業)



貸し出し画